

神戸大学医学部附属病院

総合内科

指導担当医（役職）

乙井 一典（准教授）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

概要

総合内科の主治医団の一員として2週間または4週間過ごします。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを2~3人担当し、主治医団の回診やIC、チームカンファレンスに参加し、問題点のアセスメント・プランの立て方をチームの一員として学びます。日々のカルテ記載、モーニングカンファレンスでの症例プレゼンテーション、基本的な検査手技と結果の解釈、内科救急での初期対応など、更なる経験値アップを目指します。

PCC-OSCE対策にもつながる症候別鑑別診断力アップを、ミニレクチャーや内科救急・外来症例の問診・診察から目指します。

実習スケジュール

- ・チーム回診・入院診療：指導医を含めたチームでの回診を毎日行います。問診・身体診察の仕方、POCUS（Point of Care Ultrasound）のとり方、ICの仕方などを学びます。
- ・内科救急・外来診療：上級医とともに内科救急・外来症例の問診・診察、初期対応を学びます。
- ・モーニングカンファレンス：週3回 8:30~、受け持ち症例のプレゼンテーション、カルテ記載の提示から、プレゼンテーションの仕方、カルテ記載を学びます。
- ・多職種カンファレンス：週1回医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等による入院患者の退院に向けたカンファレンスに参加することで、チーム医療を学びます。
- ・ミニレクチャー：症候別鑑別診断や身体診察の仕方などを上級医のレクチャーより学びます。

学生へのメッセージ

「臨床実習1」では医師としての基礎体力である医療面接や身体診察に加え、カルテ記載や症例プレゼンテーションを経験、「臨床実習2」ではそれらの経験値アップ、基本的な検査手技を学びますが、「臨床実習3」では臨床実習生（医学）として問題点のアセスメント・プランの立て方、基本的な検査手技や結果の解釈、症例プレゼンテーションなどの経験値アップを目指してもらいます。

特にPCC-OSCE対策にもなる症状、症候からの鑑別診断に対する問診・身体診察・診断推論力アップを目指してもらいます。